

目次

二の部	橋本	春山	島山	林喜久松	林龍門	池田仁兵衛	石井健次郎	伊豫千真里	若井野天眞	石田鎌六郎	石田次三郎	池田三郎	乾田亮	今村與八郎	飯尾次郎三郎	石野要吉	井口清次郎	吉部
一〇	六一	五九	二六	一七	九二	九〇	八八	八七	七八	七四	六九	三二	三〇	二八	一九	二頁		

三の部	布顔	沼田	近又	東京	刀德	富野	徳野	本野	本野	北野	細野	堀野	本野	日本	西永
三二	二四	五六	一〇七	八九	八三	七三	一一	九三	七四	六〇	四六	三九	三一	二九	九〇

四の部	梶川	河合	渡瀬	綿谷	萩田	太田	大井	大井	岡田	天杉	織部	岡田	大田	大田	大田	岡田	岡田	岡田
一四	一〇	五〇	二七	一八	一一	一〇	九三	九〇	七五	六六	六五	六二	五二	三八	三五	三四	三三	一五

北野清太郎の自傳

北野清太郎の自傳 著者 北野清太郎

北野清太郎は、明治十一年、青森縣の北野村に生れた。幼少にして父を失ひ、母に養はれ、學問に励み、東京高等師範學校に在學し、卒業後、教員として勤め、その後、文筆活動を始め、小説、隨筆、評論など、著書甚多。昭和十一年、東京で歿す。享年六十有七。

本書は、北野清太郎の自傳である。著者は、幼少にして父を失ひ、母に養はれ、學問に励み、東京高等師範學校に在學し、卒業後、教員として勤め、その後、文筆活動を始め、小説、隨筆、評論など、著書甚多。昭和十一年、東京で歿す。享年六十有七。

吉横吉八吉吉来由横加金鍛加神片勝加川加紙飾釜  
岡山田日川川住村雄山賀谷治藤岡田岡田勝越藤谷谷  
太次清清喜太與隆商吉半其甚其庄友清義太右徳  
十太郎太郎保太郎龜俊會次郎太郎義造郎門太郎

二二一一一  
七三九二〇八七一  
一〇八八八八七五五五三二二  
五六二一三三九三〇二四一  
一一一六

竹武田高辰高武高田高田竹武高 米吉米横横米横  
内島林村田柳中守田 坂安の 田村永山井原山  
善健安作米庄彌長清 太猶伊三右部 勇又勇芳伊於俊  
松吉郎吉郎吉一次昭兵三三松人郎男作松美男二

七七六五五四四四四三二一 八五七三三三三二  
二〇〇八二五五二二二〇九二三一 〇六九三〇三〇九

中中中中中永根 土辻津津辻土 園園 辰竹  
宮屋榮川島井の 上子 田本田田 原山 孝一郎忍  
茂彦仁庄卯與部 次部 つばた屋衣服店 商辰之助 猪駒小三 巳部忠武部孝一郎忍

一〇九六四三三二 七七 八  
三四三三四三 七三 七〇

上打ウ 森村村向室村村 中中並永中中長奈永中長  
の田田の谷田橋田谷尾上ムの村島木井川出野良井村江  
部鶴平太 禹次郎寅孫信震初の部正屋樓又松仁本伊吳銀  
次郎門吉吉郎夫三郎部義本店支八郎治三郎玉助雪

九六八 八七五五四三三 一〇〇八七七八六六六五  
一一九七九七一七三 八一七七七一八四三

松川マ 山安山山山 久熊國黒久草 野野野野野納能  
藤の 本田森宮田崎の保田本田野ク 村村村村崎賀潮  
右部の共其李千部成源繁仁友 村商會外吉喜外彌與  
衛門太隆吉郎幹之太郎知全久本店雄郎郎郎郎平

一 八九一 八六六四三三 九九五四四四二  
五〇六五七四二 八五六一六五〇 八九一九七七七三

越田コ 淵福福舟京 侍 前松丸松前松松松松  
利の原田田田橋の念ケ 田原川崎崎瀨本山原本本  
右隆伊田田居橋の念ケ 太光文清清五郎道仁三三潤次貫  
衛隆台子良太三郎洋 三郎照作作 郎郎眞眞眞三郎次郎正

九八五八二 六二六 八七七七七六九 四三六二二八六  
五〇五四四九 六六 三八七七五七六

**七の部**  
 千代榮太郎 一八四  
 瀬戸與平 一〇四  
 清々堂看板店 一〇四  
**末岡六三郎** 一四六  
**ヌの部**  
 ムミレ寫眞館 一一二  
 菅野祐次 一四六  
**(廣告之部)**  
**一の部**  
 石川會社 七  
 越中會社 七  
 株式會社 七  
 一ノ谷商店 一八  
 市村酒商店 一八  
 今井商店 二九  
 石谷商店 二九  
 井野口藥店 四〇  
 井波屋商店 四二

居關實石店 四三  
 株式會社 四四  
 井澤商會 四八  
 池田清吾 五三  
 石見由太郎 五五  
**八の部**  
 原仲次郎商店 九  
 林屋製茶社 二四  
 合會製茶社 二四  
 原名會社 三二  
 馬場伊太郎 七四  
**新の部**  
 新鞍榮次郎 一三  
 日販本質陶器店 四八  
 株式會社 七二  
 北陸企業銀行 二  
 金澤支店

堀田合名會社 一〇  
 株式會社 一七  
 北陸製菓新聞社 二八  
 任田吳服店 一六  
 戶水吉郎 二一  
 巴屋食品店 二二  
 常盤屋菓子店 二二  
 戶藤榮太郎 二二  
 東京市田債券部 三三  
 東京支店 三三  
 東廓事務所 七〇  
**子の部**  
 近岡小右衛門 七一  
 中央旅館 七一  
**リ**  
 株式會社 五一  
 株式會社 五一  
 銀行 五一  
 株式會社 五一  
 銀行 五一

**寺田五三郎** 八五  
 帝國會社 一〇八  
 帝國會社 一〇八  
 帝北公債株式會社 一〇九  
 赤田外茂男 一一  
 淺井爲二郎 二八  
 安宅又吉 二八  
 青木與一郎 八八  
 小西伊勢治 一一九  
 小西桃吉 八四  
 後藤與四郎 八三  
 小森文泰 六八  
 小池淳隆 六三  
 吳鍛治直芳 五五  
 越島幸三 四九  
 小森新太郎 四九

指野江 五六  
 坂野長太郎 六三  
 坂口秀次郎 六三  
 佐野三雄 七〇  
 坂本彌三郎 七七  
 坂田幸次郎 七七  
 才田四郎 八七  
 酒井幸次郎 八七  
 木野下 九〇  
 喜多野次郎 九五  
 明部孫市 九七  
 南谷次吉 九七  
 光谷余門 〇  
 宮本友太郎 二  
 宮浦甚太郎 四  
 三本藤太郎 六  
 三島孝次郎 七  
 三島孝次郎 七  
 宮崎宗一 一六  
 宮保吳服店 一六

清水竹次郎 二〇  
 島竹傳吉 二〇  
 柴田博康 七二  
 白野甚四郎 七二  
 柴田博康 七二  
 島野常太 八八  
 島野常太 八八  
 遠藤久 八八  
 圓地與八 七六  
 平賀三太郎 七六  
 平賀三太郎 七六  
 平賀三太郎 七六  
 東川孫太郎 四三  
 東川孫太郎 四三  
 廣瀬與三郎 四三  
 廣瀬與三郎 四三  
 森岡昇久 六五  
 守谷初男 九一

太田兄弟商會  
大島謙次郎商店  
近江長太郎  
大屋自轉車店  
大浦屋旅館  
押野看板店  
大道寫真材料店  
大道久太郎  
大矢織布工場  
ワの部  
若林久男  
渡邊兵三郎  
カの部  
釜谷鑄造所  
加州銀行  
金澤土地信託  
株式會社  
金吹鑄造所  
角間文太郎商店  
金谷吉次商店  
加賀絹絲紡績  
株式會社

一六  
一九  
二〇  
二二  
四七  
五五  
五八  
六〇  
七四  
七七  
九

金岩大商店  
金榮商會  
金井洋物店  
河合染工場  
笠場兵衛商店  
金澤電氣商會  
金澤袋町葬儀社  
ヅカフヂ  
金澤石炭  
株式會社  
株式會社  
片岡巳之吉  
釜谷常治  
鑄木九谷商店  
加藤友次郎  
ヨの部  
洋杉西堂  
米谷銀會社  
米谷文吉

一四  
一八  
二八  
二九  
三三  
三六  
四四  
四六  
五〇  
六一  
六一  
六五  
六八  
七四  
七五

吉竹榮太郎商店  
吉村茂商店  
吉田與三吉  
タの部  
株式會社大正  
夜銀行金澤支店  
株式會社  
高橋鑄物製造所  
高尾久吉  
高尾商會  
多式會社  
武初三郎商店  
辻金物店  
坪田仁三郎商店  
子の部  
根布洋服店  
ナの部  
永井兄弟商會  
中寺市三郎商店

一  
二  
四  
六  
八  
一一  
一一  
一三  
一三  
一五  
一七  
二七  
二六  
三〇  
三六  
三九  
七  
七  
七  
〇  
一  
二  
二  
二  
四  
五

中越屏風店  
中田岩次郎  
中村三一商店  
中村鐵砲店  
中堀鐵砲店  
中島郁夫  
ムの部  
村上商店  
村上三太郎  
ウの部  
梅田洋服店  
上木庄次郎商店  
内島太平治  
上野小一  
上野幾造  
ノの部  
野村次太郎  
納賀商會  
野村文商店  
野村塗料店  
野の部

四六  
五一  
五二  
五七  
五八  
七五  
四三  
六六  
二一  
二二  
三〇  
五〇  
五八  
六六  
一四  
一五  
一九  
三三

桑田福榮堂  
國本榮作商店  
ヤの部  
山田屋時計店  
安田金次郎商店  
山田藤太郎  
山田與一郎商店  
柳澤正則  
山田榮太郎  
マの部  
松村文海堂  
松岡喜六商店  
松川合名會社  
松澤商會  
增永石松商店  
九西屋金澤支店  
松岡商店  
ケの部  
京谷與三兵衛  
フの部  
福光松太郎  
藤田合名會社  
福田合名會社

二九  
二七  
一七  
二五  
二七  
三〇  
三七  
七二  
二四  
三〇  
三九  
四〇  
四一  
四五  
五五  
一五  
一六  
一七

福井商店  
藤井商店  
コの部  
小西仁三郎商店  
國際商會  
株式會社  
小島與之吉  
小鍛冶鐵工所  
福岡醫院  
テの部  
天神樓  
帝國製造所  
寺吉製鐵所  
アの部  
淺野旅館  
栗野眼明堂  
安宅又三商店  
青木次郎商店  
穴水運送社  
株式會社  
阿閉農務場  
荒木機械製作所

五四  
六三  
六四  
三二  
三八  
三八  
五二  
七五  
二二  
四七  
一三  
一三  
二〇  
二二  
二二  
二九  
三二

淺地商店 三三  
有松商店 三六  
青刷梅次郎商店 四五  
有澤商會 六九  
あさひや 八五  
愛宕遊廓事務所 八五  
澤の部 八五  
坂井旅館 一四  
坂田益吉 一四  
齊田文樂堂 四六  
齊藤時計店 四七  
北一の部 二一  
桐木屋商店 四三  
桐越彌吉商店 四三  
北一金澤支店 四三  
共同生命保險株式會社金澤支店 五五  
ぎんざ 五七  
北原泰三商店 七三  
の部 七三  
明治銀行支店 五

三三  
三六  
四五  
六九  
八五  
一四  
一四  
四六  
四七  
二一  
四三  
四三  
四三  
五五  
五七  
七三  
五

明治屋金澤支店 五七  
この部 五七  
みやば旅館 二五  
宮崎商店 三四  
宮田洋品店 三七  
宮市洋物店 四九  
宮腰金光堂 五六  
三井宗興 六二  
南出 六二  
株式會社十二銀行金澤支店 二  
嶋林砂糖店 二一  
嶋屋酒屋 三五  
嶋田十萬屋 六五  
嶋田晝夜寫真館 六九  
柴島の部 七六  
柴七の部 七五  
東垣興三郎 七八  
檜物商店 七五

五七  
二五  
三四  
三七  
四九  
五六  
六二  
二  
二一  
三五  
六五  
六九  
七五  
七六  
七八  
七五

森の部 一九  
森忠式力織機 二〇  
製橋伊右衛門所 二五  
諸江小三郎 三一  
諸田次吉商店 三六  
室谷所松 三九  
森田余平 四〇  
森田伊平 四八  
森忠商店 五四  
精養軒 二一  
清月料理店 二一  
關屋商店 三八  
關屋事務所 八二  
西廓の部 八二  
杉野元六郎 三四  
鈴木小三郎 六八  
鈴木小三郎 七五  
主計町事務所 八三

一九  
二〇  
二五  
三一  
三六  
三九  
四〇  
四八  
五四  
二一  
二一  
三八  
八二  
三四  
六八  
七五  
八三

### 男爵横山隆俊氏

◎金澤市上柿木島  
◎電話三三七〇番



氏は資性温厚篤實の君子にして氏の家柄は加賀百万石の柱石家老中錚々たるものにして先代故隆平氏は廢藩置縣後其分家たる章氏の先代隆興氏と協力し縣下能美郡尾小屋新山を經營し其間殆んど他目にも戰慄すべき底の迂餘曲折を経て而も百折不撓空も意とせず倍々奮闘努力の結果今日の大を爲すに至り實に先見の明ある凡人の企及し能はざる所なりとす且つ之れを繼

### 由雄與龜氏

◎金澤市片町四一  
◎電話二五二番  
九一九番



承し氏は分家と相戮力し合名會社横山鑛業部を組織し其活躍及事業の旺盛なる實に全國斯界屈指の地位にあり尙將來の飛躍愈々目醒敷きもの任らん又氏は頗る社交に富み衆望厚く前途倍々盛々を期待すべきなり

### 高安右人氏

◎金澤市下百々女木町  
◎電話八一九番

氏は明治十年一月河北郡津幡由雄與三兵衛氏の三男に生る其生家は呉服業にして現に津幡なる兄源太郎氏は宗家を繼ぎ活動しつつあり氏は幼少の頃より斯業に従事し後明治二十七年奮然金澤市に來り市内殿町に自ら獨立して呉服業を開業し尙來奮闘努力の結果商勢日々に良好漸次順調の進展を見たり茲に於て氏は明治三十五年現所に移轉業務を擴張し經營宜しきを得進展見るべきものあり仕入は京阪地方を主とし營業方針は廉價販賣顧客本位にして今や市内同業者中屈指の地位を占むるに至れり